

監督・競技者注意事項

1. 本大会は、2025年度日本陸上競技連盟規則に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮し、特に教育的配慮のもと進行する。
2. 競技に際してはシューズ又はオールウェザー用のスパイクを使用すること。(スパイクのピンは全種目9mmを超えないものとする。シューズについては靴底が全種目3cmを超えないものとする。ピンの長さ、靴底の厚さは招集の際に目測で行うが、判断が難しい場合は計測器を使用して計測する場合もある。シューズ、スパイクが今回の規則を超えた場合は、オープン参加として走る)
3. 100m(5年、6年)では、予選をタイムレースで行い、A決勝を予選上位8番までの競技者、予選9番～24番までの競技者はB決勝、予選25番から32番までのC決勝を行う。A決勝ボーダーライン上で1000分の1まで同タイムが出た場合、指導者による抽選を行う。A決勝出場者で8位入賞を確定し、全国大会出場者はA決勝出場者から選出する。
4. 600m(5年、6年)は、タイムレース決勝としてタイムにより1位から8位までを決定する。600mのスタートはオープンスターとする。(1列並びのスタート)
5. スタートの合図はイングリッシュコールで行う
6. 100m、600m、コンバインドA80mハードル、男女混合4×100mリレーの第1走者の不正スタートについては、旧競技規則に準じ同一競技者が2回フライングをした場合には失格とし、オープン参加として走る。
7. 危険防止のため、各走者はゴール後も自分のレーンを走り減速する。
8. トラック種目(100m、コンバインドA80mハードル、男女混合4×100mリレーの第1走者)の出発姿勢はクラウチングスタートとする。予選、決勝ともスターティングブロックを使用する。600mはスターディングスタートとする。
9. 男女混合4×100mリレーは男女各2名から編成され、走順は自由とする。メンバー変更は、補欠として登録されている選手からとし、他の競技に出場している選手からの変更は認めない。(補欠についても男女各1名ずつとする。)
10. リレー競技に出場する選手のユニホームは原則としてチーム全員とも同じデザインとする。但し、男女による型の違い、デザイン、配色が同一であれば、選手によりユニホームのタイプを選択、また、異なるメーカーのユニホームを着用することも認めるものとする。
11. リレー競技について
 - (ア)すべてのバトンパスにおいてテイク・オーバー・ゾーンの外から走り出さないこと。
 - (イ)バトンを渡し終わった走者は、走路が空くまで自分のレーンにとどまること。
 - (ウ)バトンパスの途中で、あるいはバトンパスが完了していない状態でバトンを落としたら渡し手(前走者)が拾うこと。バトンパスが完了し、受け手(後走者)が唯一の保持者となった後にバトンを落としたら、受け手が拾わなければならない。
 - (エ)もしバトンを落とした場合、落とした競技者がバトンを拾って継続しなければならない。この場合、競技者は距離が短くならないことを条件にバトンを拾うために自分のレーンから離れも良い。加えて。バトンを落とし、レーンから離れて拾い上げた後は、競技者はバトンを落とした地点に戻ってレースを再

開しなければならない。

(オ)リレー競技では、レース終了後に次走者がつけたマーカを前走者が必ず回収する。マーカは各クラブで準備する。

12. コンバインド A 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとし、背や腰などからの着地は無効試技とする。判定は競技役員に従う。

13. コンバインド A の走高跳は、自分が申告した高さから試技を開始し、2 回続けて失敗した時点で終了とする。

14. バーの上げ方は次の通りとする

○ 男子：(練習) 1 m。1 m から競技を開始する。

男子	1m00	1m05	1m10	1m15	1m18	1m21	1m24	1m27	以降 3cm ずつ
----	------	------	------	------	------	------	------	------	-----------

○ 女子：(練習) 90cm。90cm から競技を開始する。

女子	90 cm	95cm	1m00	1m05	1m10	1m15	1m18	1m21	以降 3cm ずつ
----	-------	------	------	------	------	------	------	------	-----------

15. コンバインド A 80 m ハードルは、ハードルの高さ 70 cm、ハードル間 7 m、ハードルの台数 9 台、スタートから第 1 ハードルまで 13 m、最終ハードルからフィニッシュラインまで 11 m とする。

16. コンバインド B の走幅跳、ジャベリックボール投は全員 2 回の試技とする。

17. コンバインド B ジャベリックボール投の助走距離は 15m 以内とする。

18. コンバインド B ジャベリックボール投げの試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることをとする。※羽だけを持って投げることは禁止する。

19. コンバインド A,B について

(ア) コンバインド競技は以下の順で行う。

- ① コンバインド A：80mハードル、走高跳
- ② コンバインド B：走幅跳、ジャベリックボール投
- ③ コンバインド競技の各種目の得点は、「JAAF 小学生混成競技得点表（2022 年度改訂）」による。
- ④ 80 m ハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。
- ⑤ 100 点以下の記録は、すべて 100 点とする。
- ⑥ スタートまたは試技を行ない、参考記録（80 m ハードルにおいて不正スタートとなりオープン参加時の記録）、記録無し（DNF/NM）、失格の場合は、50 点（参加点）とする。
- ⑦ スタートまたは試技を行わない場合は、棄権とし、0 点とする。
- ⑧ 最初の種目で欠場した競技者は、2 種目目には出場できない。
- ⑨ 2 種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は、同順位とする。
- ⑩ 招集時間内に点呼を受けること。怠った場合は棄権とみなす。招集場所は、北サブゲートとする。
- ⑪ 招集場には、競技に出られる服装（ナンバーカードをシャツの胸と背につけた状態）で集合すること。

(イ) ジャベリックボール投げのサブトラックでの練習時間

- ① 女子：10 時 00 分から 11 時 15 分
- ② 男子：11 時 30 分から 12 時 45 分

※ ジャベリックボール投げのサブトラックでの練習には、必ず指導者が付き添い、安全に十分に配慮すること。

(ウ) 80 m ハードルのサブトラックでの練習時間

① 男女：7時15分から10時10分

※サブトラックには小学生用のハードルが無いいため出場各クラブの持ち込みハードルでお願いします

20. 男女混合4×100mリレーのオーダーは、オーダー用紙1枚に記入し、招集完了60分前までに選手受付（正面玄関内ロビー受付）に提出すること。予選のオーダー用紙は、受付時に配付する。決勝のオーダー用紙は、予選終了後決勝進出チームに対して正面玄関内ロビー受付で配付する。
21. 各種目上位3位まで表彰する。競技終了後に表彰式を行うので玄関内に集合すること。
※ 4位から8位の賞状は受付に置いておくので代表者が引き取りに来ること。
22. 競技場内には大会役員、補助役員以外は立ち入り禁止とする。
23. サブトラック、雨天練習場の使用は指導者同伴に限る。また、雨天練習場は雨天のみ使用可（運営側が使用の判断をする）とする。サブトラック、雨天練習場には選手と指導者（監督、コーチ）以外は入場できない。監督・コーチ用リストバンドを受付時に配付する。尚、出場人数に応じて配付する。（最大1チーム6名までとする）なお、競技の途中の雨天で雨天練習場を使用する場合は、雨天練習場の使用が開始した時間でサブトラックの使用は終了とする。
24. 抗議はチーム代表者（監督）が、予選では結果の正式発表後15分以内、決勝では結果の正式発表後30分以内に行わなければならない。抗議場所はTIC（正面玄関内）とする。
25. クラブチームの横断幕・のぼり等の設置はホームストレートのみとする。設置については観覧者の妨げにならないようにする。
26. 各選手の荷物は、各クラブ、個人で責任をもって管理すること。
27. ゴミは、各クラブ、個人で持ち帰ること。
28. フィールド競技の指導、アドバイスは各競技で設置されたコーチングエリアより監督、コーチが行うこと。
29. 補助役員は、補助役員の実施中に応援、指導、アドバイス、写真撮影をしてはならない。
30. 大会当日の受付時での提出書類は、参加費の領収書（写し可）を添付した「日清食品カップ 第41回埼玉小学生陸上競技交流大会兼県民総合体育大会ジュニアの部」の申込用紙、日本陸連への登録後の支払証明書（会員向け専用サイトよりダウンロード）を提出する。
31. 乳母車、キャスター付きの荷物搬送車はスロープを使用する。
32. 車椅子の方は、正面玄関受付で対応する。
33. サブトラックの使用時間は、7時15分から15時30分までとする。サブトラック内に設置したテント等全ての道具は15時30分までに撤収する。
34. 第1ゲート、第2ゲート、スロープの使用時間は7時00分から16時30分までとする。スタンドからの撤収は16時30分までに行う。
35. 日清食品の横断幕の片付けは、男女混合リレーの決勝に進出したチームが実施する。